

一般質問(要旨)



石塚 隼人 議員
いばらき自民党
坂東市・五霞町・境町選出

インバウンド誘致の更なる推進と持続可能な観光振興のための取組

議員 地域経済の活性化のため、インバウンド誘致のさらなる推進を求める。一方、オーバーツーリズム※1への対応や持続可能な観光振興に必要な財源確保の議論も必要と考えるが、どう取り組むのか。
営業戦略部長 令和7年に外国人延べ宿泊者数26万人を目指し、都内に滞在する訪日客も含め戦略的に誘客を進めていく。オーバーツーリズム対応などについては、今後、県内状況を把握し、他の好事例などを庁内も含め共有していく。

古河保健所の移転と整備進捗

議員 古河保健所は築50年が経過していることなどから、交通便利性の向上を求める地元住民の声と併せて、移転を要望してきた。どこに移転し、どのようなスケジュールで整備を進めていくのか。

保健医療部長 幹線道路にも近く、渋滞する国道4号を回避できる古河市諸川の県立古河産業技術専門学院跡地を移転先に決定した。令和8年度からの建設工事の実施、令和10年4月の供用開始を目指す。
(ほかに、五霞町を含む県西地域の水行政の推進なども質問)



現古河保健所と移転先



金子 敏明 議員
無所属
かすみがうら市選出

緊急性がない救急車利用の「選定療養費※3」の徴収

議員 緊急性が認められない救急搬送者からの選定療養費徴収が発表されたが、検討の経緯は。
保健医療部長 厚生労働省をはじめ、県医師会、対象病院、消防機関などの関係機関と協議を重ね、了承を得た。冬場の救急搬送のピークに向け、本年12月1日を目途に運用開始できるように、関係機関と準備を進め、県民に丁寧な周知啓発を行いながら、真に救急医療が必要な方に医療を提供できる体制を確保していく。

パラスポーツ振興の現状と今後の取組

議員 本県のパラスポーツ振興の現状と関係機関との連携を含めた今後の取組は。
福祉部長 障害者スポーツ・文化協会を中心に、競技参加者の拡大などに取り組んできた。本年8月に設立された茨城パラスポーツ協会などと連携し、パラスポーツの振興を図り、誰もが活躍できる社会の実現につなげていく。

(ほかに、部活動及び地域クラブ活動における児童生徒の安心安全の確保、茨城県のDXの推進なども質問)



茨城県障害者スポーツ大会におけるポッチャの様子

「情報委員会」をオンラインで開催しました

7月5日、情報委員会において、緊急時のオンライン開催に備え、機器などの習熟のため、オンラインによる審議などを行いました。



情報委員会(オンライン)の様子

「決算特別委員会」を開催しました

9月26日に委員会(戸井田和之委員長)を開催し、一般会計・特別会計・公営企業会計における令和5年度決算の総括的な概要、決算審査意見のほか、県総合計画に掲げる政策・施策の進捗状況について説明を聴取した後、部門別審査を行いました。
部門別審査では、公営企業会計について説明を聴取し、詳細な審査を行いました。
第3回定例会閉会後に委員会を開催し、一般会計および特別会計の部門別審査の後、総括質疑、採決を行う予定です。



横田 透 議員
いばらき自民党
つくばみらい市選出

スタートアップ※2の成長支援

議員 スタートアップの成長には人材確保、資金調達、事業展開に課題があるが、成長を支援するための県の取り組みは。
産業戦略部長 多様な企業や人材が集まる交流イベント開催などによる人材確保支援、成長分野に挑戦するスタートアップへの資金調達の支援、公共調達推進などによる市場や販路拡大の支援など、スタートアップの成長段階の課題に応じた支援を行っている。今後もその成長を強力に後押ししていく。

産業戦略部長 多様な企業や人材が集まる交流イベント開催などによる人材確保支援、成長分野に挑戦するスタートアップへの資金調達の支援、公共調達推進などによる市場や販路拡大の支援など、スタートアップの成長段階の課題に応じた支援を行っている。今後もその成長を強力に後押ししていく。

道徳教育の充実

議員 道徳教育の充実に向けた県の取り組みは。
教育長 「考え、議論する道徳」の推進のため、教員などに対し、児童生徒の様子を見取り、褒めて伸ばすことを大切にした評価などについて研修を行っている。また、指導資料への事例追加により、授業の充実を図っている。今後も研修や教材の改善などにより、道徳教育の充実に取り組んでいく。

議員 道徳教育の充実に向けた県の取り組みは。
教育長 「考え、議論する道徳」の推進のため、教員などに対し、児童生徒の様子を見取り、褒めて伸ばすことを大切にした評価などについて研修を行っている。また、指導資料への事例追加により、授業の充実を図っている。今後も研修や教材の改善などにより、道徳教育の充実に取り組んでいく。
(ほかに、健康寿命を延ばす高齢者の居場所づくり・社会参加、郷土教育の推進なども質問)



企業や人材が集まる交流イベントの様子



下路 健次郎 議員
いばらき自民党
東海村選出

原子力災害を想定した避難訓練実施状況

議員 学校にいる子どもたちの安全をどう守るかという視点が大変重要である。避難訓練実施状況の問題にどう取り組んでいくのか。
教育長 議員ご指摘のとおり、避難訓練の実施率向上を目指していく必要がある。現在、ほぼ全ての学校で実施されている地震災害を想定した訓練と併せて、原子力災害に対応した屋内退避や保護者への引き渡し訓練を実施する複合訓練の手法を学校に周知し、実践することで実施率向上に努めていく。

議員 学校にいる子どもたちの安全をどう守るかという視点が大変重要である。避難訓練実施状況の問題にどう取り組んでいくのか。
教育長 議員ご指摘のとおり、避難訓練の実施率向上を目指していく必要がある。現在、ほぼ全ての学校で実施されている地震災害を想定した訓練と併せて、原子力災害に対応した屋内退避や保護者への引き渡し訓練を実施する複合訓練の手法を学校に周知し、実践することで実施率向上に努めていく。

放射性物質の拡散シミュレーション結果から検討すべき避難に関する重要な論点

議員 原子力災害時、避難者が最初にクリアすべきポイントを議論し、周知徹底することが大変重要であると考えますが、所見は。
部長 P A Z※4においては、まずは500m圏から避難すること、また、一時移転の対象となったU P Z※5においては、1週間以内に300m圏から避難すること、こうした取るべき行動の重要性について、住民に対し、十分に周知していく。

議員 原子力災害時、避難者が最初にクリアすべきポイントを議論し、周知徹底することが大変重要であると考えますが、所見は。
部長 P A Z※4においては、まずは500m圏から避難すること、また、一時移転の対象となったU P Z※5においては、1週間以内に300m圏から避難すること、こうした取るべき行動の重要性について、住民に対し、十分に周知していく。
(ほかに、防災士の育成とその活用、茨城大学原子科学研究センターなども質問)



学校での避難訓練の様子

議会広報ポスターの図案(デザイン)、写真を募集中です

若者をはじめとした県民に分かりやすく参加しやすい県議会の環境づくりのため、県内在住の学生・生徒の皆さまなどから議会広報ポスターの図案を募集しています。

〈応募締切〉
令和7年2月28日
〈選考方法、賞品〉
・選考は、茨城県議会情報委員会が厳正に行います。
・入選作品を制作された個人または団体には、ギフトカード1万円分を贈呈します。



茨城県議会広報ポスター 図案募集

※応募資格などの詳細は、茨城県議会ホームページをご確認ください。
<https://www.pref.ibaraki.jp/gikai/boshu/poster.htm>